

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
稲畑廣太郎	薄氷の息吐くやうに伸びる泡	前橋市	斉藤洋子
稲畑廣太郎	つつまれて水のにはひや螢の火	横浜市	飯島まゆみ
稲畑廣太郎	銀漢や旅とは夢を追ふ心	神戸市	玉手のり子
稲畑廣太郎	農道に風纏ふとき秋近し	名張市	福山悦子
稲畑廣太郎	青空に枯木の枝の突きささる	中野区	大久保なほ子
稲畑廣太郎	風うたふ風鈴売の軋む棚	神戸市	足立朱麻
稲畑廣太郎	さへづりや朝は等しく万物に	葛飾区	川角由美子
稲畑廣太郎	雲の峰山低くして立ち上がる	伊賀市	永井二紗子
稲畑廣太郎	蜘蛛の囿の風のふくらみ読み切って	前橋市	小池涼正
稲畑廣太郎	山笑ふうす紫に連らなりて	長久手市	浜田典子
稲畑廣太郎	白菊の献花の列へ旅人我	刈谷市	竹中良枝
稲畑廣太郎	翅たたみ掬ふ日だまり冬の蝶	名張市	森川和
稲畑廣太郎	ふる里に心残して見る花火	刈谷市	神谷美恵子
稲畑廣太郎	落し文半分解けて色溶けて	津市	西川登美枝
稲畑廣太郎	落葉踏む似て非なる音すれ違ふ	長岡京市	藤堂くにを
稲畑廣太郎	ゆるる葉に新涼の風見つけたり	伊賀市	桑原陽子
稲畑廣太郎	夕闇の音なき音や走り梅雨	福岡市	飯田絹子
稲畑廣太郎	初雪の径の轍をそろり行く	名張市	稲住青陽
稲畑廣太郎	雲海の切れ目石狩川太く	白山市	辰巳葉流
稲畑廣太郎	ランドセルおいてかけだすなつのそら	伊賀市	西川亜美
井上弘美	水分の神の風もて鳥の恋	京田辺市	加藤草児
井上弘美	番屋一灯玫瑰の花匂ふ	江戸川区	坂本昭子

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
井上弘美	灯涼し宮入を待つ風の辻	文京区	市村和湖
井上弘美	八朔の梨子地に散らす菊花文	習志野市	鈴木禮子
井上弘美	晩涼の土間に鎮めの破魔矢かな	木津川市	奥和民
井上弘美	神泉へ燭参らす涼みかな	江東区	浦田祐子
井上弘美	風死すや絵馬に錆びゆく左鎌	名古屋市	尾崎登代
井上弘美	鳥辺野の石あつくなる蟬しぐれ	名古屋市	谷中弘子
井上弘美	白蛾湧く一樹に森の果てにけり	中野区	中田千恵子
井上弘美	月見草開き漁船の帰る頃	柏崎市	水野宗子
井上弘美	風死して環嶺伊賀は御簾の中	伊賀市	炊規夫
井上弘美	こぼれ萩踏みて入るべし白毫寺	堺市	濱田昭
井上弘美	幽谷の水音一縷ましら酒	調布市	岸根明
井上弘美	日照雨ふる透明に降る瓜の馬	諏訪市	北川みや子
井上弘美	涼しさや雨断ち切つて稚児の太刀	川崎市	小野美智子
井上弘美	父が飾る父の生家の雛かな	鈴鹿市	高尾一叶
井上弘美	命有て遺髪に泣ける露時雨	国分寺市	湯口昌彦
井上弘美	うぶすなの空どこまでも夕かなかな	新宿区	伊藤章子
井上弘美	百歳の匙に透きたるゼリーかな	府中市	日暮原子
井上弘美	父母逝きて家郷に残す虫の宿	宗像市	川口茂則
井上康明	いわし雲美濃から伊賀へ翁の忌	大垣市	度会さち子
井上康明	田一枚雲雀のうたの鋤き込まる	伊賀市	坂石佳音
井上康明	玉虫の瑠璃曳きとべる翁道	名古屋市	光田道子
井上康明	春の森アリスの落ちたような穴	伊賀市	福沢義男

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
井上康明	月の道海より生れ海に消ゆ	伊賀市	池本 準一
井上康明	万緑に沈みゆきたる生家かな	伊賀市	菊山 時子
井上康明	星雲のやうにゆらめく石牡丹	練馬区	曾根 新五郎
井上康明	白壁の大きな家紋晩夏光	中央市	乙黒 幸江
井上康明	炎昼のしじまの振り子時計かな	名古屋市	たか おさむ
井上康明	法鼓鳴る山懐や九輪草	厚木市	森田 陽子
井上康明	秋冷や眼するどき木偶頭	横浜市	石川 孝子
井上康明	眼前の滝にのまるる鼓動かな	横浜市	三玉 一郎
井上康明	桜まじ赤子の握る母の指	北杜市	仲田 君恵
井上康明	大雨の続く列島梅雨ふかし	北杜市	仲沢 和子
井上康明	手花火の終はりて暗き顔残る	神戸市	杉岡 壺風
井上康明	コスモスの一叢の空鳶舞へり	山梨県	田代 喜躬子
井上康明	沢音は葉風に似たり青胡桃	江南市	山口 南海子
井上康明	紺屋なる三和土のしめり昼の虫	広島市	藤谷 知子
井上康明	静かに置く飽食の箸終戦日	横浜市	多田 学友
井上康明	真白なる雲張り出せる夏隣	南アルプス市	清水 幸
小川軽舟	眺めよき父の山墓稲の花	杉並区	菊地 あきこ
小川軽舟	追分の風の三叉路蟬しぐれ	川崎市	荒井 東
小川軽舟	灯のつきて川面揺らぎぬ夏料理	横浜市	折勝 家鴨
小川軽舟	冬の鹿湖畔の宿に忍び未し	伊賀市	森 智子
小川軽舟	風鈴やみんな集まる祖母の家	伊賀市	垣内 有美子
小川軽舟	藤袴空を見上げて友を待つ	伊賀市	船見 雪絵

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
小川 軽舟	朴の木の葉に葉の影や夏深し	牛久市	笹野 泰弘
小川 軽舟	年の夜の叩きて均す枕かな	龍ヶ崎市	井原 仁子
小川 軽舟	夏草や上野の山の瘦せ雀	狭山市	林田 美音
小川 軽舟	初旅や行く先々に富士の山	札幌市	藤林 正則
小川 軽舟	坐禅草囲む園児の膝小僧	札幌市	佐藤 多美子
小川 軽舟	青い空青い海原夕端居	福岡市	白井 道義
小川 軽舟	トンネルを出でて一面青田風	和歌山市	不野 公美
小川 軽舟	くるぶしに寄せくる波や星月夜	宇治市	鬼界 時三
小川 軽舟	風紋の海へなだるる秋彼岸	京田辺市	加藤 草児
小川 軽舟	音読の子の声澄めり十三夜	輪島市	中崎 かづえ
小川 軽舟	鯉五郎一步もひかぬ面構へ	輪島市	沖崎 青波
小川 軽舟	雨粒に雨後の青空稲の花	前橋市	糸井 芳子
小川 軽舟	青空の表面張力夏兆す	京都市	辻 久久
小川 軽舟	ひとり降り空のバス行く麦の秋	前橋市	斉藤 洋子
小澤 實	尻ポケットより財布はみ出す暑さかな	江南市	柴田 亮
小澤 實	スリッパのギンガムチェック春を待つ	富山市	小林 森ん波
小澤 實	一筆の円相禅画蝸牛	大田区	森川 雅美
小澤 實	軍事郵便唯一の形見終戦日	伊賀市	福森 千恵子
小澤 實	ジャズピアノ藍の浴衣の客もいて	東久留米市	三浦 洋子
小澤 實	止めどなく土鳩の鳴くや朝曇り	練馬区	小林 文隆
小澤 實	仏壇の爺へ一礼帰省の子	名張市	森川 和
小澤 實	蟻の列僧の草履を迂回せり	柏市	佐藤 敏文

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
小澤 實	雨乞ひやドプロギターのサンハウス	横浜市	前島 康樹
小澤 實	木枯に猿の臉の白さかな	津市	渡邊 健治
小澤 實	微睡める城代家老春爛漫	伊賀市	森 永花菜
小澤 實	梅雨明けや大きな玻璃の美術館	志摩市	鶴口 秀子
小澤 實	遠ざかる雷鳴洛中洛外図	名張市	岡本 布杏多
小澤 實	チェロケース背負ふ背中に新樹光	町田市	和田 あきら
小澤 實	夕焼のひとすぢ残る地平線	港区	長谷川 照子
小澤 實	シールドと木のコースター風薫る	葛飾区	川角 由美子
小澤 實	紬織り衣桁に掛ける良夜かな	西宮市	吉村 久夫
小澤 實	ひなたぼことこしへは今ここにあり	さくら市	山越 正彦
小澤 實	少しづつ丸まる母や萩の風	杉並区	岡本 春水
小澤 實	天の熱地の熱蚯蚓逃げ場なく	伊賀市	池本 準一
權未知子	銀色のおぶくを一つ山椒魚	三重県	石井 洋子
權未知子	村芝居幕引く指の見え隠れ	志摩市	中井 まゆり
權未知子	天の川引込み線の永らへて	東久留米市	川目 紫
權未知子	小春日の三面鏡に出口なし	中野区	中田 千恵子
權未知子	草の花水琴窟に膝を折る	文京区	市村 和湖
權未知子	汗拭う權は激流やり過ごし	京都府	田端 欲句歩
權未知子	清明の島の風紋波紋かな	練馬区	曾根 新五郎
權未知子	黒猫の金の眼翳る大暑かな	松山市	杉山 望
權未知子	花は葉に静けさ戻る上野城	伊賀市	猪岡 節夫
權未知子	雑踏の中の子探す秋の暮	千葉市	鈴木 さち子

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
權未知子	泥の子を見遣るレースの白さかな	川崎市	百田広香
權未知子	六月の明るい胸を映す水	板橋区	笠原みわ子
權未知子	星月夜生命線を覗き合ふ	世田谷区	阿部優子
權未知子	かりがねや山の匂ひの入れかはり	文京区	鶴巻貴代美
權未知子	美しき数式つくる水馬	安曇野市	穂苅真泉
權未知子	田水張る昔琵琶湖の底の里	伊賀市	坂石佳音
權未知子	極月のバックヤードに通される	川崎市	小林鮎美
權未知子	ドアマンも受付もみなアロハシャツ	藤沢市	矢野みはる
權未知子	鬼灯を灯す父来よ母よ来よ	大田区	佐瀬はま代
權未知子	駅弁の短き箸や秋うらら	名張市	森永侑樹
坂口緑志	おしもの尾に差す碧や新茶汲む	奈良市	山中智恵美
坂口緑志	出漁の氷積み込む鯉船	志摩市	手塚泰子
坂口緑志	防潮堤高々と築き田植済む	名古屋市	伊藤紫都子
坂口緑志	土笛の太古の匂ひ火の恋し	亀山市	岡田良子
坂口緑志	夕星のまたたく斎庭茅の輪立つ	伊賀市	下村哲朗
坂口緑志	就中倅せさうな金魚買ふ	大垣市	大西誠一
坂口緑志	光り合ふ難波薔薇と蝶の白	伊賀市	土井陽代
坂口緑志	背番号三の悲報や不如帰	半田市	矢浦詠正
坂口緑志	旅に吹く矢筈ゑんどう笛にして	江南市	山口南海子
坂口緑志	鳥渡る利一の駆けし丘の径	伊賀市	浜地和恵
坂口緑志	蜘蛛の囿に結ぶ白露故郷塚	伊賀市	永井みよ
坂口緑志	夕刻を香で知らず富貴蘭	伊賀市	野口俊史

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
坂口 緑志	ほうたるの歓喜の声を聞かまほし	境港市	阿部 はる
坂口 緑志	蛍火の命のリズムでのひらに	前橋市	田村 信子
坂口 緑志	島人も海も穏やか浜万年青	志摩市	浜口 久美子
坂口 緑志	暁の茅の輪くぐりて漁に出る	常滑市	竹内 重美
坂口 緑志	日の暈に触れし雲雀の落ちて来し	岡崎市	小木曾 みえ子
坂口 緑志	赤鬼の話しかける村祭	伊賀市	福森 千恵子
坂口 緑志	水を越え草をくぐりし夕蛍	伊賀市	島井 節
坂口 緑志	古里に帰る家無し蛍の火	大府市	鷹羽 しん女
谷口 智行	菜の花を揺らしゆくなり伊賀鉄道	名張市	杉本 由美子
谷口 智行	草笛を吹いて野良猫ふり向かす	松阪市	池田 緑人
谷口 智行	姥目櫛多き谷すじ山始	寝屋川市	川上 純一
谷口 智行	捕虫網ごと抱き上げて帰り来る	鈴鹿市	山中 悦子
谷口 智行	今年米水と空気の佳き里の	橿原市	鈴木 玲子
谷口 智行	青葉潮越えて少年留学す	熊野市	楠木 君子
谷口 智行	磯ひよの声美しく海の駅	寝屋川市	川上 純一
谷口 智行	目刺焼く遥かに母の労働歌	長浜市	野口 成人
谷口 智行	てんかふんうなじに残し神楽坂	豊島区	別所 弘
谷口 智行	頭上飛ぶその大きさよ寒鴉	京都市	中島 素女
谷口 智行	かなかなをきくわれ死後のわれならむ	小平市	中澤 清
谷口 智行	八咫鳥とぶや熊野の星月夜	京都市	佐々木 志う
谷口 智行	悲しくてやうかん買ひに不死男の忌	小樽市	杉中 昌樹
谷口 智行	ふるへつつ蛾の曳かれゆく蟻の道	伊勢市	森下 充子

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
谷口智行	風花が窓へしきりに安置室	平塚市	石川桃瑪
谷口智行	子負虫瓶にすかせる子の寄り目	今治市	渡辺芳子
谷口智行	たたみくる卯波白波種の浜	伊賀市	岡島千秋
谷口智行	薬瓶に臍の緒四つ土用干	今治市	青野香代子
谷口智行	地下出れば祇園囃子の只中に	鈴鹿市	高尾のり子
谷口智行	上靴の親指痛し終業式	伊賀市	石井康晴
西村和子	老涼し手間ひまかけて厨事	神戸市	小柴智子
西村和子	水仕事終へまた水使ふ夕薄暑	津市	林里美
西村和子	草笛を吹く唇のこそばゆし	神戸市	岸下庄二
西村和子	荒布売る昭和のままの店構へ	稲沢市	日比孝子
西村和子	夜の梅すべては書かず日記閉づ	世田谷区	松井明夫
西村和子	とびきりの赤を選りたり鬼灯市	大田区	佐瀬はま代
西村和子	木犀に風の濃くなり忌日くる	津市	瀧民子
西村和子	花蘇芳今は音なき機屋街	宇治市	亀山みか月
西村和子	薫沐のシテ現はるる袴能	奈良市	池田雪彦
西村和子	旅好きの話好きなる温め酒	伊賀市	羽根千恵
西村和子	植田風忍者電車とすれ違ふ	伊賀市	岡森典子
西村和子	送り火や父母の馴れ初め聞きそびれ	紀の川市	中島紀生
西村和子	筋斗雲一号二号春の空	伊賀市	百上進一
西村和子	海風もすぐに乾きぬ麦の秋	津市	石川裕子
西村和子	影連れて歩く日傘の重さかな	亀山市	岡田良子
西村和子	若き日々思ひめぐらす端居かな	四日市市	及川和男

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
西村和子	舳ひたる鶺舟に蓑の干されあり	長岡京市	藤堂 くにを
西村和子	トラクターの轍緩みし春の土	尾張旭市	重原 瑞枝
西村和子	枇杷熟るる赤子は今日もよく笑ふ	八幡浜市	山口 指月
西村和子	星浴びて来し黒猫の涼しき眼	桜井市	中 佐代美
長谷川 權	もう一度素振り百回玉の汗	福岡市	白井 道義
長谷川 權	朝寒や最上階へ日の光	札幌市	鈴木 禎子
長谷川 權	しぐれ忌や晴れを楽しむ一日旅	福岡市	三十田 燦
長谷川 權	一夜にて散る月桃や梅雨の旅	東広島市	伊藤 孝子
長谷川 權	雨音のリズムの中に春来たり	奈良市	堀ノ内 和夫
長谷川 權	星屑も唯我独尊星月夜	御坊市	林 晋作
長谷川 權	神楽部の最後の稽古卒業す	京田辺市	加藤 草児
長谷川 權	空家売れて知らぬ人住む柿の花	甲賀市	服部 登紀子
長谷川 權	曼陀羅や円に涼しき仏たち	志木市	真尾 公子
長谷川 權	炎天下更地を護る鬼瓦	輪島市	中崎 かづえ
長谷川 權	鯉ねらふ鴉の後に青鷺来	川西市	高橋 佳子
長谷川 權	夜神楽や面から漏るる父の声	城陽市	近藤 好廣
長谷川 權	黙禱のまなうら赤し終戦日	名張市	岡本 布杏多
長谷川 權	鰻屋の店先三重に折れて列	伊賀市	西野 登志子
長谷川 權	礼儀より教はる囲碁や夏休み	大府市	井村 晏通
長谷川 權	夏空へ貨車次々に連結音	大府市	三井 桃洗
長谷川 權	噴き出でし樟の花の芽明日かな	伊賀市	山本 正紀
長谷川 權	亡き夫のますらをぶりと恋蛍	新宿区	紫 木 蘭

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
長谷川 權	玻璃戸越し夜毎守宮を爪弾く	長崎県	山口 美由喜
長谷川 權	農やめて草の花野となりにけり	鈴鹿市	関 昭 世
星 野 椿	車窓から栗めし買って終はる旅	熊本市	槻 木 俊 彦
星 野 椿	こぼれつぐ山茶花なれば掃かずおく	伊賀市	浜 地 和 恵
星 野 椿	山梔子の香りを運ぶ風の色	宇部市	永 田 芳 子
星 野 椿	滔滔と木曾三川や雪解水	堺市	守 作 けい子
星 野 椿	実梅落つ淵の深さへ弾みつつ	伊賀市	岡 島 千 秋
星 野 椿	来てみれば芭蕉生家の枇杷たわわ	伊賀市	前 出 公 子
星 野 椿	葉桜や棚田の水の濃くなりし	伊賀市	加 戸 典 子
星 野 椿	嘗て虚子泊りし宿の額の花	伊賀市	北 出 たてを
星 野 椿	白妙の滝はまっすぐ碧き淵	名張市	奥 中 定 代
星 野 椿	剪定やししばし思案の空缺	江戸川区	羽 住 博 之
星 野 椿	夕茜植えしばかりの田を染める	尾鷲市	若 林 柁 矢
星 野 椿	月涼し一直線の段葛	川崎市	柳 内 恵 子
星 野 椿	百歳やこの寂しさに心太	津市	小 林 古 寿
星 野 椿	正面に伊賀富士を置き蕨狩	伊賀市	福 沢 義 男
星 野 椿	揖斐長良鳴き交はしつつ雁の列	津市	中 戸 悟
星 野 椿	虚子門のかたへに学びあたたかし	狛江市	志 村 洋 子
星 野 椿	大琵琶を一望にして夏料理	伊賀市	森 中 幸 枝
星 野 椿	島陰に船の老いゆく半夏雨	志摩市	織 戸 昇
星 野 椿	秋風や翁辿りし旅に出づ	伊賀市	山 下 久 美
星 野 椿	虚子忌から始まる玉藻カレンダー	三木市	岡 本 やすし

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
堀本裕樹	ブレイクダンスめく尾を残し蜥蜴逃ぐ	伊賀市	土井陽代
堀本裕樹	分校に錆し自転車小鳥来る	大府市	成田乱泊
堀本裕樹	奥伊賀のまばらなる灯や虎落笛	豊橋市	岡野寛十郎
堀本裕樹	コスモスは手がかりとして吹かれみる	豊川市	鈴木歌織
堀本裕樹	進級の曾孫擦る灯ぞ位牌妻	東大和市	板坂壽一
堀本裕樹	駄菓子屋に生徒と先生花の午後	八幡浜市	山口指月
堀本裕樹	車椅子の母の拍手や卒業子	伊賀市	中森里江
堀本裕樹	朝顔や角の魚屋子たくさん	文京区	梶田祥子
堀本裕樹	百頭の牛舎に唸る扇風機	札幌市	藤林正則
堀本裕樹	草臥れて静かに山は眠りけり	姫路市	石堂秋華
堀本裕樹	白湯吹けば今宵梟よく啼けり	富山市	小林森ん波
堀本裕樹	ぶつ切りの風の届きし扇風機	大垣市	七種年男
堀本裕樹	枝ぶりの揃ふ杉の秀風薫る	和歌山市	東内まり子
堀本裕樹	春立つや言葉発する洗濯機	和歌山市	片桐三紗子
堀本裕樹	甚平の父六法を子に譲り	広島市	森本弘子
堀本裕樹	早立ちの味噌汁の濃き遍路宿	福岡市	松本逸朗
堀本裕樹	ランナーの前へ前へとなごり雪	札幌市	松尾一司
堀本裕樹	初産の後のメロンや音たてて	宮崎市	山野楓子
堀本裕樹	猿の糞載せて吊橋梅雨に入る	新居浜市	大賀康男
堀本裕樹	ネクタイを緩めぬ父の終戦日	京都市	林游実子
正木ゆう子	流行風邪あした着ていたはずの服	名張市	森永真里奈
正木ゆう子	きのふまでわれに縁なき雪女郎	三木市	岡本やすし

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
正木 ゆう子	膝叩く団扇むかしのことはもう	荒川区	和久山 伸之
正木 ゆう子	林檎齧りきみを知らない日へ帰る	伊賀市	小川 ひとみ
正木 ゆう子	死は無いと腑に落ちにけり芭蕉の忌	さくら市	山越 正彦
正木 ゆう子	詩はいつも指先にありソーダ水	川越市	渡 邊 隆
正木 ゆう子	てふてふを舐めたりといふ子どもかな	春日井市	田代 ふう
正木 ゆう子	天井の板目うごめく極暑かな	尾鷲市	中森 泰次
正木 ゆう子	身に入むや会えば語るに言葉なく	仙台市	伊藤 和彦
正木 ゆう子	昼顔のはなればなれといふ軽さ	京都市	宇野 恭子
正木 ゆう子	アガパンサスの青トロンボーンの風	横浜市	野々山 木雨
正木 ゆう子	悠揚と空統ぶ龍の字凧かな	吹田市	小森 孝敏
正木 ゆう子	林檎持ちカーブの握り学びをり	太田市	塚越 郁夫
正木 ゆう子	往年は生き字引いま生身魂	四日市市	赤塚 靖子
正木 ゆう子	薬師寺の庭を許され青蛙	市原市	小原 千秋
正木 ゆう子	争はぬ角をもちたる蝸牛	大垣市	七種 年男
正木 ゆう子	消えさうに沈んでをりぬ心太	東海市	大里 恵美子
正木 ゆう子	父の日のひと言で終ふ子の電話	甲賀市	福元 幸鈴
正木 ゆう子	半生を晒すがごとく書を曝す	名古屋市	市之瀬 肇
正木 ゆう子	青蚊帳に入りし心地は深海魚	吹田市	小森 孝敏
三村 純也	寄墓に桜吹雪のとめどなく	吹田市	西村 妙子
三村 純也	飽食の世に水飯の捨てがたく	越谷市	荒川 清司
三村 純也	今し据ゑ蟻螂山の鎌動く	枚方市	伊瀬知 正子
三村 純也	蚕豆の茹で上がりたるひすみ色	堺市	内田 陽子

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
三村純也	夏負や水道水の生温く	伊賀市	羽根千恵
三村純也	とんぼりの川辺明るし地藏盆	枚方市	春名勲
三村純也	釣忍スカイツリーを向きたがる	明石市	榎野実
三村純也	塩きかし茶粥を啜る暑さかな	奈良市	池田雪彦
三村純也	六十は村の青年田を植うる	伊万里市	萩原豊彦
三村純也	咲きのぼり空ほしいまま凌霄花	桑名市	今尾ゆき子
三村純也	柿若葉照りて階なす吉野建	奈良市	高橋翠
三村純也	夏場所のはねて夕日の隅田川	京都市	織作香代
三村純也	直角に曲がり卒業証書受く	大府市	井村晏通
三村純也	芋水車水吐き出して吐き出して	名張市	増田笑子
三村純也	家ぢゆうが打楽器になる大夕立	目黒区	清水吉明
三村純也	背合せも向かひ合せも墓洗ふ	伊賀市	米田朝子
三村純也	誰よりも父が器用に粽結ふ	伊賀市	森中幸枝
三村純也	骨切りの音に始まる鱧料理	東久留米市	矢作輝
三村純也	芭蕉忌の旅に真筆拝みけり	西尾市	沢井真弓
三村純也	突然の雨に慌てる土用干	伊賀市	森下則子
宮坂静生	しなの木の花のこぼれて月光像	千曲市	依田ひろ
宮坂静生	御樋代木伐る斧響く木曾の夏	伊勢市	西岡せつ子
宮坂静生	盆用意虫養ひに塩むすび	尾鷲市	中村東太
宮坂静生	からむしの機織る音や星月夜	福島県	湯田畠道
宮坂静生	水めぐる天地の鼓動木の根明く	亀山市	岡田良子
宮坂静生	龍の出る開墾譚や軒つらら	神戸市	平尾美智男

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
宮坂静生	天地を分かつ稜線御来光	伊勢市	間宮正文
宮坂静生	立ち上がる熊胸板を撃てと咆ゆ	堺市	濱田昭
宮坂静生	夏めくや色を分けたる潮境	津市	瀧民子
宮坂静生	一揆野に声押し殺す蟾蜍	半田市	矢浦詠正
宮坂静生	名刀の波紋のうねり新樹光	名古屋市	安食多津子
宮坂静生	三色の鉛筆持つて春の野へ	津市	坂中徳子
宮坂静生	唐黍の焦げる匂ひや母恋し	松本市	下条久子
宮坂静生	乙女子のギター背負ひし山開き	輪島市	沖崎青波
宮坂静生	天の川見えなきものの手を満たす	松本市	海野恵子
宮坂静生	旅人の遠眼差しや真葛原	松本市	丸山公子
宮坂静生	脱皮せしやうな少年セロリ噛む	桜井市	中博司
宮坂静生	夏がすみ帰帆の影を大きくす	京都市	宇野恭子
宮坂静生	ゆさゆさと生き抜く気概百日紅	宇治市	西堀良子
宮坂静生	田水張り神とあがむる石を置く	栃木県	平岡丈子
宮田正和	木津川は翁終の路夕焼けて	伊賀市	中嶋國博
宮田正和	名前読む平和の礎青時雨	甲賀市	山中佳鈴
宮田正和	万緑のいま渾身の息つかひ	四日市市	佐藤径
宮田正和	身中を風吹き曝す羽抜鶏	宇治市	能勢勇
宮田正和	強力の背負ふ高さや山開	名古屋市	草野金子
宮田正和	老鶯と挨拶交はす無垢の朝	伊賀市	澤田純子
宮田正和	誰が魂か八月の木槿の白き	伊賀市	福山良子
宮田正和	空襲に耐へたる樟の青葉かな	東大阪市	中川靖子

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
宮田正和	吾が影のなきを歩めり炎天下	伊賀市	藤田郁子
宮田正和	噛み跡は鵜鮎の証し姿よき	弥富市	富田範保
宮田正和	海鳴りの近づく朝袋掛け	名古屋市	小原米子
宮田正和	母許へ続く坂道花石榴	伊賀市	中出泰衣
宮田正和	羅や足に馴染みし利休下駄	名張市	浮本笑子
宮田正和	伊賀一の宮の湧水ふふみ夏	伊賀市	桑原智代美
宮田正和	香を放ち渡り蝶待つ藤袴	伊賀市	東出了子
宮田正和	雛街道武家の名残りの長屋門	伊賀市	桑原陽子
宮田正和	屋根替の反り身に仰ぐ武家屋敷	伊賀市	谷口千代
宮田正和	鯉節製すや岬くすぶらせ	志摩市	松村正之
宮田正和	大樟の葉擦れ止まざり宮涼し	甲賀市	服部登紀子
宮田正和	炎昼の飛び来る影の雲ばかり	伊賀市	西田ゆかり
片山由美子	百号の絵の前に置く君子蘭	和歌山市	桑島啓司
片山由美子	宿坊の百の朱の膳夜の秋	伊賀市	佐々木経子
片山由美子	百円を巡り春闘深夜まで	越谷市	小田毬藻
片山由美子	百畳の冷えつりのりくる常楽会	三重県	金津やよい
片山由美子	古本の百円コーナー日の永し	金沢市	三谷道子
片山由美子	百日紅祖母の匂ひの祖母の家	唐津市	古賀由美子
片山由美子	禅堂に迷ふ百足虫を逃がしけり	京都市	三原寿典
片山由美子	百日紅母は一生母であり	城陽市	倉本節子
片山由美子	目を見張る百万石の雛調度	伊賀市	平島由季子
片山由美子	鳥辺野の坂鬱蒼と百舌鳥猛る	大府市	神谷優

□令和7年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【入選】

選者	俳句	住所	俳号
片山由美子	笹百合のさゆらぎもせず雨の中	日野市	田村 登代子
片山由美子	ケルン立つ山上百の赤蜻蛉	伊勢市	山本 孝子
片山由美子	百年の農家守りて田草取	富士市	佐野 明美
片山由美子	朝顔や毎日素振り二百回	四日市市	藤田 勝民
片山由美子	早梅雨ペンキぬりたて百葉箱	和歌山県	桑原 里美
片山由美子	目貼して築百年といふ民家	津市	前川 千可子
片山由美子	百鳥の声の集まる大けやき	津市	湯浅 重好
片山由美子	夏菊を供へし兄の百ヶ日	伊賀市	中森 三津子
片山由美子	自転車を押して坂道百千鳥	別府市	吉田 紫紅
片山由美子	雪吊や百万石の城下町	半田市	佐藤 ひさよ